

平成 27 年度修士論文

Radio Environment Database considering Primary User Activity in Time Domain

プライマリユーザの時間的变化を考慮した 電波環境データベース構築

学生番号	1431019
氏名	王 昊
情報・通信工学専攻	情報通信システムコース
主指導教員	藤井 威生 教授
指導教員	山尾 泰 教授
提出日	平成 28 年 1 月 29 日

専攻主任印	主指導教員印	指導教員印

修士論文の和文要旨

研究科・専攻	大学院 情報理工学研究科 情報・通信工学専攻 博士前期課程		
氏 名	王 昊	学籍番号	1431019
論文題目	Radio Environment Database considering Primary User Activity in Time Domain		

要 旨

コグニティブ無線を用いた周波数共用において、周波数の二次利用者 (SU: Secondary User) は既存の周波数割り当てユーザ (PU: Primary User) への干渉を回避する必要がある。その中で自身の通信品質を確保するためには、正確な電波環境推定技術が重要である。筆者らは、これまで車載無線機やスマートフォンといった移動端末が観測した膨大な電波環境情報から構築される電波環境データベースを提案してきた。テレビ帯域を対象とした実証実験により、従来の距離減衰モデルに基づく手法と比較して PU の平均受信電力値の空間的な分布を精度良く推定できることを明らかにしている。しかし、これまでは PU の通信状態の ON/OFF 遷移を考慮せずに観測値を一意に平均化していた。そのため、無線 LAN のように観測期間内に状態遷移する可能性のあるシステムについては、最終的な平均結果と ON 状態の平均受信電力値に差が生じる恐れがあった。そこで本稿では、PU の通信状態の遷移を検出するセンシング手法を提案する。提案手法では、電波環境データベースに蓄積された統計情報と連携し、協調センシングによって電波環境を観測することで状態遷移を検出する。本手法により、通信を行なっている状態での受信電力値の取り出しが可能となり、結果として PU が通信を行なっている状態での平均受信信号電力値を精度良く推定できる。本稿では特に、状態遷移時間の検出に焦点を当てたシミュレーション評価を行ない、その有効性を示す。

和文概要

近年，

Abstract

Recently,

Chapter 1

Introduction

Chapter 2

Proposed Method

Chapter 3

Simulation

3.1 Simluation Model

Chapter 4

Conclusion

Acknowledgments

References

- [1] I. F. Akyldiz, W. Su, Y. Sankarasubramaniam and E. Cayirci, "A survey on sensor networks," *IEEE Comm. Magazine*, vol. 40, no. 8, pp. 102–114, Aug. 2002.

Publications

- i. 王昊, 中川洸佑, 北村優行, 藤井威生, ”重み付け協調センシングを用いた無線環境データベースによる状態遷移検出法,” 信学総大, B-17-19, 2014 年 3 月.
- ii. Hao Wang, Takeo Fujii, ”Transition detection with Spectrum Database using Weighted Cooperative Sensing,” Proc IEEE ICUFN, July. 2014.
- iii. 王昊, 藤井威生, ”重み付け協調センシング及び電波環境データベースを用いたプライマリユーザの状態遷移検出法の一検討,” 信学技報 SR2015-1, pp. 1-6, May 2015.
- iv. Hao Wang, Takeo Fujii, ”Active Period Detection Method of Primary Signal for Radio Environment Database,” SmartCom2015, SR2015-50, pp. 21-22 , Oct. 2015.
- v. Hao Wang, Koya Sato, Takeo Fujii, ”Received Power Detection under Multiple ON/OFF Environment for Registering Radio Environment Database,” Proc IEEE ICTC, Oct. 2015.
- vi. 市川浩次, 王昊, 佐藤光哉, 藤井威生, ”市街地環境における電波環境データベース連携による高さ方向の信号電力推定,” 信学技報 SR2015-2, pp. 7-12, May 2015.

Appendix

From the next page, the program source is attached.